

青い旅

出雲市子ども支援センターの主な業務

相談活動 子ども支援活動 補導活動
啓発活動 他機関連携・環境浄化など

場所 出雲市今市町北本町1-7
(出雲勤労青少年ホーム内)
TEL 0853-21-4444
相談電話フリーダイヤル 0120-84-7867
URL <http://www.city.izumo.shimane.jp>

平成17年(2005)7月

一学期末を迎えるにあたって

一学期が終りに近づいてきました。楽しい夏休みがやってきます。そこで、家族や大人として心がけて欲しいことを次に挙げてみました。

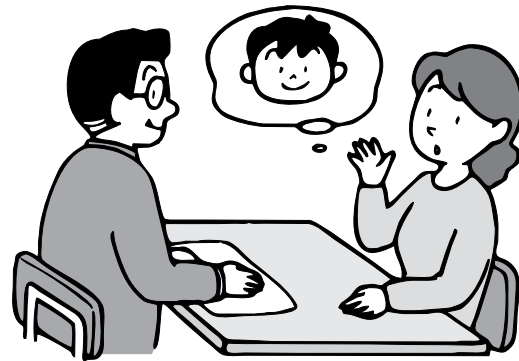
一学期中に生活や教科学習で良くなった面や頑張った面を認め、ほめ、さらに子ども自身を向上させていくきっかけとなるようにしましょう

子どもたちにとっては、この一学期、新しい環境、新しい友だちと学校生活を過ごし、勉強のことや諸活動(課外活動など)で良かったことがたくさんあった反面、苦勞や悩みごともあったことと思います。そして、さまざまな経験をし、心身ともにたくましく成長したことでしょう。その良かった点やがんばりを認め励まし、元気づけたいものです。

例えば「病気やけががなくてよかった」「最近、勉強をよく頑張っているね」など、その生活を振りかえり、やる気が起こるような励ましの言葉をかけて、向上心を養うようにしたいものです。

通信簿や連絡票を通して

子どもたちは、一学期の生活や学習の成果を記録した通知票などをもらいます。担任の先生から褒められたことや評価を認め、「やればできる」と自信をつけたいものです。また、家庭で子どもの頑張りを語り合う場を設けてはいかがでしょうか。



子どもの生活を温かく見守りましょう

夏休みになると、子どもたちは、自由にのびのびと生活することができます。過ごし方によっては、自主・自立の精神が培われる良い機会です。読書や体験活動、自由研究、地域行事と積極的に参加できるといいですね。一方、生活リズムが乱れ帰宅時刻が遅くなったり、元気がなくなったり、黙りこんだりするような変化が見られたら、子どもの心情や状況にあった対応が大切です。「どうしたの?何か心配ごとはないの?」「夜更かしは身体によくないよ」などと、やさしく子どもの気持ちを考えた接し方が大事です。子どもがのびやかに生活できるように見守っていききたいものです。



あらゆる年代の人が気軽に集い、スポーツを楽しめる古志スポーツセンター(古志町)

古志スポーツセンターは、スポーツ活動や文化教養の振興の場、また、近年ニーズが高まっている子育て支援の拠点の一つとして、古志町に建設しました。総事業費は約8億6千万円。鉄筋コンクリート造2階建ての体育館は、バレーボールやバスケットボールのコートが2面とれるアリーナがあり、各種競技や大会が開催できます。また、ミーティングルーム(和室)、軽運動室も備え、生涯学習などにも幅広く利用できます。屋外には、200メートルトラックがとれる多目的広場があります。古志体育館施設等建設委員会の林要一会長は、「すばらしいスポーツセンターができ、大変

喜んでいます。多くの人に利用され、健康づくりや交流の場となることを願っています」と話します。使用料や利用方法は下記のとおり。市では、このセンターを、新しい文化の創造・発信の施設として、多くの皆様に利用していただきたいと考えています。



エアロビクスなどに利用できる2階の軽運動室。2つに仕切って使うこともできます

平成14年度から整備を進めてきた「古志スポーツセンター」(古志町)が、新「出雲市」発足後初めての公共施設として完成し、7月11日から利用できるようになりました。今号では、利用方法などを紹介します。

古志スポーツセンター完成

地域スポーツの拠点に

古志スポーツセンター 古志町1955

・アリーナ：720㎡ ・多目的広場：約8,900㎡
・駐車場：20台
【利用時間】9時～22時(多目的広場は8時30分～日没)
【予約受付】月～金：13時～17時
土・日・祝日：8時30分～17時
【休館日】年末年始(12月30日～1月4日)
【申し込み・おたずね】古志スポーツセンター
(TEL 20-0977、FAX 20-0978)

古志スポーツセンターの使用料徴収

古志スポーツセンターの使用料徴収は、古志スポーツセンター管理委員会が行います。
おたずね/財政課管財室(TEL 21-2211 内線 3211)

使用料 営利目的以外

施設名	区分	使用料(1時間)
多目的広場	占用	500円
	アリーナ	1,000円
アリーナ	個人	1人につき100円
	その他	300円
その他	個人	1人につき100円

